

2015年4月 会社の雰囲気を1W^{7分}明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

ビジョンで広がる“〇〇”の輪

2014年末に縁があって、障害者就労継続支援A型事業所（以下、A型事業所）という許可制事務所の見学に行かせて頂きました。障がい者といっても様々で、現在は20人に1人が障がい者というようです。実際、私が見学に行った事務所は、私が当初、抱いていたイメージとは全く違いました。勝手ながら、明るいとは言えない事務所を下請け的な仕事、内職業務…というイメージしか抱けなかったのですが、Webの販売、翻訳、電話セールスといった業務を主に行っており、オフィスはとても明るく、そう言われなければ、よくある普通の会社、事務所という感じでした。それからいろいろ話をお聞きしたり、他の似たようなコンセプトの事業所さんをご紹介いただき、見学に行くに連れ、それを自分で立ち上げることが、ユメオカとの相乗効果につながるイメージが広がってきました。例えば「受付覆面調査」「自費患者さんへの6か月後フォロー」「4バランスから見える課題と対策」「IT顧問」など事業としては仕組化に苦難していた単発サービスをこのA型事業所で実行していくことです。同時に私は、前々から**地元の地域社会に貢献したい**気持ちを強く持っていました。ユメオカは全国の医院さんが顧客で、コンサルタントも全国に散らばっており、地域社会との関わりがどうしても薄くなりがちです。まだ始まっていないので未知数ではありますが、働く人がその人のスタイルにあった納得できる仕事を得て、我々としては「新サービス」の立ち上げと「地域貢献」の2つを同時に行え、それが長期に継続できるだけの事業として利益がしっかり出るのではないかと考えたのです。

さっそく準備段階において、知人経営者に自分のビジョンを話して回ることから始めています。そこではユメオカの事業だけでは、決して知り得なかった福祉に携わる方々達との出会いがありました。彼らとの出会いは、“心温かい人”の多さ、そしてその温かみの質、深みを知った気がします。“心温かい”とは言い古された言葉ですが、自分を含めて今までお付き合いしてきた方々とは明らかに違う気がします。彼らの笑顔の中に、これまでのご苦労と喜びが振れ幅ある形で優しく同居しているような感じが共通していました。彼らの中に、私が提出した書類を見ていただき、「役所に出す書類等はそのぞいて、現在、障害者の標記（特に害という漢字）については 障がい者の方の気持ちを汲んで「障がい」とか「しょうがい」とかにされているところが多いです」と丁寧にアドバイスをくださった方さえいました。こんなことも知らずに参入した自分が何とも恥ずかしい限りですが、真っ白な気持ちで一から勉強させていただき、勉強できる喜びを感じています。それはもしかしたら、一生気づかずに過ごしたことなのかもしれないと思うと、感謝に尽きる思いです。これもビジョンのおかげかもしれません。自分のビジョンを話すことで、**人の輪、知恵の輪、協力の輪、学びの輪**…といろんな輪がどんどん広がっていき、とても楽しくなってきました。実務としても私自身の人間の幅としても助けられ、学べるきっかけをビジョンによって得ている感じです。